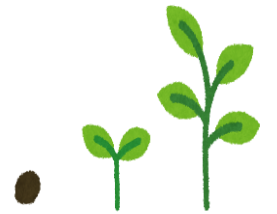


# 江戸東京野菜栽培記録 ～馬込半白きゅうり編～



平成28年5月6日



平成28年5月9日（委員会活動①）



馬込半白きゅうりの苗は、国分寺市の農家の方に育てていただきました。きゅうり栽培の専門家で、他にも枝豆やトマト、なすなど、たくさんの野菜を作っている方です。9日には、委員会の時間を使って畑に植えて、支柱を立てました。

平成28年5月14日



強風にも負けず、順調に生長しています。つるが伸び始め、支柱に巻き付いていました。今は実をつけるよりも苗の生長に栄養を回したいので、下から5節目までの脇芽や花は全て摘んでしまいます。



平成28年5月16日



平成28年5月27日



苗が大きくなってきました。主事さんに竹を切ってもらい、栽培・給食委員会のきゅうり担当と主事さんで棚を作りました。

平成28年5月27日



きゅうりの花には雄花と雌花があり、全てが実になるわけではありません。花の付け根が膨らんできゅうりの形をしている方が雌花です。

平成28年6月1日



平成28年6月2日



つるが伸び、背丈も大きくなってきました。実は5cmほどに生長していました。小さくても半白（上半分が緑で下半分が白い）なのがわかります。

平成28年6月2日



よく見ると、新しい葉の隙間やつるが巻いている内側にアブラムシがびっしりついていました。大量のアブラムシがつくと、植物は汁を吸われて生長が悪くなったり、ウイルス性の病気やすす病の原因になります。アブラムシには牛乳スプレーが効くと聞き、さっそく牛乳を薄めてかけてみました。

平成28年6月15日



牛乳スプレーの効果かどうかは分かりませんが、アブラムシの集団はすっかり見かけなくなりました。アブラムシの天敵であるテントウムシがたくさんいるので、そのおかげかもしれません。つるは支柱の上まで伸びました。実もたくさんついています。15cm~20cm位で収穫できます。

平成28年6月24日



平成28年6月29日



きゅうりは生長がとても早く、油断していると収穫期を逃してどんどん太く大きくなっていきます。金曜日に採り忘れると、月曜日はへちまのようなお化けきゅうりがたくさんぶらさがっています。